

聴覚検査(ささやき声検査)について

3歳児の頃は、社会性やことばの発達がめざましい時期です。耳のきこえはお子さんのことばや知能の発達にとっても大切な働きをしています。きこえにくさがあると、その程度は軽くても、後々大きな影響を与えることにもなりかねません。3歳6か月児健康診査は就学前に行なわれる最後の健診であり、きこえについての確認が必要です。

◆準備するもの

- ・絵シート（右ページ）

◆ささやき声の出し方

- ・息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。
普通の声はのど(のどぼどけ)に手を当てたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。

◆検査時の注意点

- ・絵の名前を言うのは1回だけ。聞き返されても、繰り返し言わないでください。
- ・ささやき声が大きくならないように注意しましょう。

◆検査のやり方

- ① 絵を子どもの方向に向けて置き、1mくらい離れ、向かい合って座ります。
- ② 「この絵の名前を言うから、お母さん(お父さん)が言った絵を指してね。」と子どもに言って、普通の声(会話するときの声)で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵を全て正しく指せるように練習します。
- ③ 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と、子どもに言って、手元を隠し、6個の絵の名前をささやき声で1回ずつ言います。正しく指せれば○、指せなければ×となります。
- ④ 結果を3歳6か月児健康診査診査録(その2)の「聴覚検査アンケート」に記入します。



ささやき声検査用絵シート

